

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12種・複数)					規模		改修方法(9種・複数)					改修効果		竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約										
												事務所・店舗	研究所	美術館・博物館	学校	病院	工場・物流施設	物販	飲食	ホテル	集合住宅	集会場	その他	地上	地下	強度向上	韌性向上	免震改修	制震改修	仕上げ改修	天井改修	設備改修	基礎の耐震改修	液状化対策	その他				
						診断・改修	耐震改修					1	2	3	4	1	2	3	4	5																			
101-001	2012年度	青木あすなろ建設	白鳥職員寮・敬老館	白鳥職員寮・敬老館		集合住宅への制震補強の適用	葛飾区	青木あすなろ建設(株)			東京都							○			○	○	○	○				最大層間変形角：1/250、および、Is \geq 0.6	1972	2003	併用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低粉塵の施工、短工期施工、ローコスト施工	集合住宅に対して制震補強を実施した例である。補強に対する発注者の意向は、耐震性能を確保した上で、出来るだけ改修範囲を少なくした設計とすること、また、居住者が移転することなく工事を行うことであった。これらを踏まえ、主に建物外部に制震プレースを設置して住戸へ立ち入ること無く工事を行う計画とし、また、施工時には居住者や近隣に配慮した計画をたてることにより、支障をきたすことなく工事を行った。							
101-002	2012年度	青木あすなろ建設	クラウンハイツ	クラウンハイツ		民間分譲マンションへの制震補強の適用	クラウンハイツ管組合法人	江戸川区建設組合共同	青木あすなろ建設(株)		東京都	○						○		○	○	○	○				最大層間変形角：1/125(SRC造部：1～5階)1/150(RC造部：6～9階)、および、Is \geq 0.6	1973	2011	併用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低粉塵の施工、短工期施工、ローコスト施工	民間の分譲マンションに対して制震補強を実施した例である。補強に対する発注者の意向は、居住者が移転することなく工事を行うことであり、これを踏まえて、住戸部である3階以上には建物外部に制震プレースを設置する計画とした。なお、1、2階の事務所には鉄骨プレースおよび耐震壁の増打ち補強を施している。補強工事にあたり、行政よりの助成金を取得している。								
101-003	2015年度	青木あすなろ建設	三鷹芙蓉ハイツ	三鷹芙蓉ハイツ		東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの制震補強の適用	三鷹芙蓉ハイツ管理組合	青木あすなろ建設(株)			東京都							○		○	○	○	○				最大層間変形角：1/125	1977	2015	併用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保	本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と併用しながらとする施工条件に対して制震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があった廊下側のみの補強材設置を、制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政よりの助成金を取得している。								
101-004	2015年度	青木あすなろ建設	羽根木マンション	羽根木マンション		東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの制震補強の適用	羽根木マンション管理組合	青木あすなろ建設(株)			東京都							○		○	○	○	○				最大層間変形角：1/150	1974	2014	併用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保	本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と併用しながらとする施工条件に対して制震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があった敷地の狭い南面バルコニー側の補強材設置を、杭不要の袖壁を介する制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政からの助成金を取得している。								
101-005	2015年度	青木あすなろ建設	ライオンズマンション新小岩第2	ライオンズマンション新小岩第2		東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの制震補強の適用	ライオンズマンション新小岩第2	江戸川区建設組合共同	青木あすなろ建設(株)		東京都							○		○	○	○	○				最大層間変形角：1/125	1979	2015	併用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保	本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と併用しながらとする施工条件に対して制震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があったバルコニー側のみの補強材設置を、制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政からの助成金を取得している。								
202-001	2019年度	新井組	西宮市営住宅上ヶ原七番町5・6号棟耐震改修他工事【DB方式】	西宮市営住宅上ヶ原七番町5・6号棟耐震改修他工事【DB方式】		デザインビルド提案で市営住宅を居ながら耐震改修施工	西宮市	(株)新井組		(株)新井組	兵庫県							○		○	○	○	○			Is>Iso(性能評価取得工法)	1973	2018	DB発注方式、居ながらの影響低減、アウトフレーム工法による基礎杭の低減、鋼材ダンパー、特殊プロック壁	デザインビルド(DB)発注方式による市営住宅(1973年竣工耐震基準)の耐震改修工事である。補強(スマイルダンバフレーム工法)や震波ブロック工法の採用により、工期短縮や施工効率性の向上を図り、居ながら施工の入居者への負担を極力低減した。									
202-002	2023年度	新井組	武庫川団地17号棟他2棟耐震改修その他工事	武庫川団地17号棟他2棟耐震改修その他工事		外付け鉄骨ASOFR工法による居ながら耐震改修で居住者の負担を軽減	都市再生機構	(株)新井組		(株)新井組	兵庫県							○		○	○	○	○			Is>Iso	1978	2023	居ながら施工、基礎杭削減、強度型・韌性型建築対応、アンボンドフレーム、ユニット化	性能発注物件である標準案に対する技術提案として、独自保有特許技術の外付け鉄骨ASOFR工法の採用により、基礎工事の軽減、補強構面数の減、異なる性状の2棟の補強計画の統一を行った。									
303-002	2012年度	淺沼組	東京工業大学(すずかけ台)総合理工学研究科棟3号館	東京工業大学(すずかけ台)総合理工学研究科棟3号館		五重塔の心柱構造を応用した新たなレトロフィット手法による耐震改修	国立大学法人東京工業大学	東京工業大学(株)企画設計	(株)浅沼組		神奈川県							○		○	○	○	○			相対変位：1/250以下	1979	2010	併用しながらの補強、ロッキング壁、鋼材ダンバー、特定層の破壊防止、交換可能な制震ダンバー	東大工で考案された五重塔の心柱構造を応用した耐震構法を初めて採用している。オリジナルデザインを尊重し、外部に剛強なRC造の連層耐震壁(ロッキング壁)を6箇所設置し、既存建物と鋼製ダンバーでつなぎ、地震時に建物各層の層間変形角を揃えて特定層の破壊防止をしている。									
303-003	2022年度	淺沼組	奈良市本庁舎	奈良市本庁舎		外付けフレームなど多様な工法を採用した市庁舎の居ながら耐震改修	奈良市	(株)安井建築設計事務所		(株)浅沼組	奈良県							○		○	○	○	○			Is>Iso	1977	2021	共用しながらの補強、BCP(事業継続性)向上、外付けフレーム、外付けフレーム、地下柱は包帯補強、鉄骨フレーム接着工法	築40年の本庁舎における「居ながら工事」の耐震改修工事。荷重軽減を行い外部に鉄筋コンクリート造と鉄骨フレームを組み合わせた外付け耐震工法を採用。内部においては既存躯体への鉄骨フレーム補強、地下柱は包帯補強(SRF)、増設壁は無収縮高流動コンクリート(フィルクリート)を使った壁など多様な工法にて建物の耐震性能の向上を図った。									
505-002	2012年度	安藤・間	某中学校・高等学校男子寄宿舎耐震改修工事	某中学校・高等学校寄宿舎		ラーメンフレームによる窓を塞がない外付け耐震改修	匿名	(株)安藤・間		(株)安藤・間	埼玉県							○		○	○	○	○			極稀最大応答1/100以下換算Is>Iso=0.7	1978	2010	併用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低粉塵の施工、助成金適用	フレームを用いない外構面制震補強構法「KG構法」を採用して耐震補強を行ったものである。KG構法の採用により、低騒音・低振動での施工による建物を使用しながらの改修と耐震補強による高い耐震性能を同時に実現した。また、KG構法は開口部を塞がない外付け構法であるため、改修後も日照や景観に影響がない点についても使用者から好評を得ている。									
505-003	2012年度	安藤・間	市川市立南行徳小学校	市川市立南行徳小学校		外付けプレースにより建物の耐震性能を改善	市川市	(株)安藤・間		(株)安藤・間	千葉県							○		○	○	○	○			Is>Iso	1975	2006	併用しながらの改修、短期工施工、低騒音、低粉塵の施工、高耐震性能	本物件は、公募型プロポーザル・デザインビルド方式による補強提案の募集においてOBF工法による補強の提案が採用され、耐震補強を行ったものである。OBF工法での補強により、教室の採光等の環境、パレコニーの使用性能に影響を与えることなく、建物の耐震性能を向上することができた。室内側の工事がほとんどなく、建物を使用しながらの施工を可能とした。									
808-001	2012年度	大林組	中尊寺本堂	中尊寺本堂		伝統木造建築における「外観・使い勝手を変えない」耐震改修の実現	宗教法人中尊寺	(株)大林組		(株)大林組	岩手県							○		○	○	○	○				明治42年(1909)に再建され、構法は土壁を主な耐震要素とした伝統木造建築でありますが、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震において土壁の一部にひび割れが生じ、平泉が世界文化遺産に指定されたことからも構造安全性確保のため、耐震改修を行うこととなりました。当社開発の高耐力高剛性壁「スーパー板壁工法」の採用により、建物を併用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現した。												
808-002	2012年度	大林組	大和文華館	大和文華館		所蔵美術品に影響を与えない低粉塵・低騒音工法を採用	近畿鉄道(株)	ブレイスマディア	(株)大林組	(株)大林組	奈良県							○		○	○	○	○				平成22年(2010年)に開館50周年を迎えるあたり、老朽化した美術館の機能を更新するため、50年の永きにわたり愛され継続してきた大和文華館を次の世代に引き継ぐため、創建時の理念を継承しつつ、最新の構造補強工法やバリアフリー化などにより大規模な改修工事を実施したものであり、所蔵美術品に影響を与えない工法を採用した好例である。												

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者		改修施工者		都道府県	建物用途(12拝・複数)												規模	改修方法(9拝・複数)						改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約	
808-019	2021年度	大林組	獨協医科大学病院耐震補強工事	獨協医科大学病院	○	病院を継続しながらの耐震補強工事	(学)獨協学園	(株)NTTブリティーズ	(株)大林組		(株)大林組			栃木県				○												Is≥0.6	1974	2019	運営しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用	3Q-Wall、3Q-Braceなど低振動・低騒音の工法を採用することで、病院を稼働させながらの施工を実現した。				
808-020	2021年度	大林組	茨木カンツリー倶楽部クラブハウス	茨木カンツリー倶楽部クラブハウス	○	由緒風格あるゴルフ場クラブハウスに調和する耐震補強	(一社)茨木カンツリー倶楽部	(株)大林組		(株)大林組				大阪府				○	3	1	○	○		○						Is>Iso	1963	2020	意匠性確保 使いながら補強工事 デザイン性	2023年の倶楽部設立100周年を見据えて耐震補強を実現した。重厚感ある特徴的な意匠を損なうことのない内外装に調和する耐震補強とした。透過性のある鋳鉄ブロックによる耐震壁を採用した。				
808-021	2021年度	大林組	熊本城天守閣	熊本城天守閣	○	ダンパー配置を省スペース化した制振補強	熊本市	(株)大林組		(株)大林組				熊本県			○													Is>Iso 応答結果	1960	2021	震災復興、短工期施工、高耐震性能、資産価値向上	熊本市による「熊本城天守閣復旧整備事業プロポーザル」にて技術提案を行い、優先交換権者に選定され、早期復旧を目指した。地盤面以下は、国指定特別史跡に指定されており、建物を支える既存深基礎に作用する地震力の低減を図るため制震補強を採用している。上層階の工事を先行する足場の掛け方の工夫や遠くからでも工事進捗が見られる半透明の仮囲いなど、復興のシンボルとして着実に進む復旧を日々伝えることが出来た。				
808-022	2022年度	大林組	新砂プラザ	新砂プラザ	○	長周期地震動対策としての制振補強	J S T (株)日本設計		(株)大林組					東京都	○														応答解析	1993	2020	高耐震性能、長周期地震動対策、デザイン性向上、資産価値向上、助成金適用、BCP(事業継続性)向上	長周期地震動に対する安全性の確保を目的として、地震時の変形を抑制し、揺れの継続時間を短くするために、制振部材を追加設置する制振改修工事を実施した。					
808-023	2023年度	大林組	はまぎんホール ヴィアマーレ	はまぎんホール ヴィアマーレ	○	複雑な形状の天井落下防止対策 大林組の「フェイルセーフシーリング」	(株)横浜銀行	(株)大林組		(株)大林組				神奈川県	○														落下防止	1993	2023	天井落下防止	音響性能や天井形状を変更しないことが求められ、かつ、重量増が認められない複雑な形状をした既存建物の特定天井の独自技術(フェイルセーフシーリング)を用いた天井落下防止対策					
808-024	2025年度 New	大林組	筑波大学附属病院病棟B	筑波大学附属病院病棟B	○	通常の病院業務を行ながら、免震構造への改修、インフラの再構築	国立大学法人筑波大学	(株)大林組		(株)大林組				茨城県			○	30	3										時刻歴応答解析で確認	1976	2024	病院業務を行ながらの免震、高耐震性能、デザイン性向上、資産価値の向上	筑波大学による公募型プロポーザル方式において、地下1階を2層化し免震柱頭に免震装置を設置する中間層レトロフィットが採用された。これにより通常の病院業務を行なうがるの免震化の実現、工期・コスト面でも効果をもたらすことができた。					
808-025	2025年度 New	大林組	白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ大林組コンサートホール)	白石市文化体育活動センター	○	安心・安全、そしてこだわりの音響環境を継承させた「天井耐震化」	白石市	(株)三菱地所設計	(株)織本構造設計	(株)大林組				宮城县			○	○	4	0	○	○	○	○					非構造部材の耐震性能向上	1997	2024	被災した天井部に準用して耐震化を構築し、既存音響性能を損なわずに復旧させた。	2022年3月に発生の福島県沖地震により崩落したコンサートホール吊り天井の震災復旧工事。現行基準から外れた特定天井を全撤去し、構造軸体と一体化させ、構造耐震天井として安心・安全な計画とした。国内でも稀有な5段鍵盤を備えた大型パイオルガンに適した残震時間を確保するため、複雑でアシメトリーナ三脚多面集合体の天井形状を変えずく音響性能を損なうことなく、復旧させた。					
1010-001	2012年度	奥村組	奥村組大箇町社宅	奥村組大箇町社宅	○	プレキャストコンクリートによる省アーカー・アウトフレーム耐震補強工法	(株)奥村組	(株)奥村組		(株)奥村組				兵庫県			○		7	0	○	○							Is>Iso	1977	2012	供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低騒音工法、一体的デザイン	居住者に対する改修工事の影響を抑えた事例である。住戸の外部のみで補強工事を実施でき、連結管を用いることで、騒音・振動が発生しやすいあと施工アンカーの数を削減した。また、プレキャストコンクリート部材の使用によって工期を短縮した。					
1010-002	2013年度	奥村組	奥村組柏風寮	奥村組柏風寮	○	鋼板プレース内蔵プレキヤストコントラート板による接着式耐震補強工法	(株)奥村組	(株)奥村組		(株)奥村組				大阪府			○		6	0	○	○							Is>Iso	1973	2010	供用しながらの改修、高耐震性能、低振動、低騒音工法、乾式薄壁	本工法は、既存骨組の内側にX型の鋼板プレースを内蔵したプレキャストコンクリート板を、エポキシ樹脂により接着接合して補強壁を増設する。鋼板プレースも耐力を発揮するため、コンクリートの壁厚を薄くできる。プレキャストコンクリート板はエレベーターで搬入できる。					
1010-003	2014年度	奥村組	若葉台第1共同住宅3-7棟	若葉台第1共同住宅3-7棟	○	住宅と店舗の上下階を継続使用しながら、免震階に工事を集約した中間階免震	神奈川県住宅供給公社	(株)奥村組		(株)奥村組				神奈川県			○		13	0	○	○							極端な地震動に対し層間変形角1/400以下	1983	2013	供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低粉塵の施工、資産価値向上、施工の安全性	本案件は、昭和58年に竣工した鉄骨鉄筋コンクリート造の集合住宅兼店舗を、免震建物に改修する工事である。中間階免震を採用するとともに、住宅共用部である3階(免震階)に工事範囲を集中するよう工夫したことにより、免震層上部の住戸と下部の店舗を継続使用しながらの施工が可能となった。					
1010-004	2015年度	奥村組	関門海峡海上交通センター局舎	関門海峡海上交通センター局舎	○	24時間海上交通の安全性を監視する業務を継続しながらの中間階免震改修	第七管区海上保安本部	(株)綜合設計		(株)奥村組				福岡県	○					10	0	○	○							極めて稀な地震動に対し、・短期許容応力度以下・層間変形角1/350以下・居住床の応答加速度400cm/s2以下	1988	2014	供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音、低粉塵の施工、施工の安全性の向上	本案件は昭和63年に竣工した海上交通センター局舎を、免震建物に改修する工事である。本建物は24時間にわたって海上交通の安全性を監視する施設であるため、中間階免震(1階住戸免震)を採用することで免震層上部を継続使用しながら施工し、高い耐震性を実現した。				
1010-005	2016年度	奥村組	サービス付き高齢者住宅アネモネ	サービス付き高齢者住宅アネモネ	○	奥村式増打ち壁耐震補強工法(モルタル吹付けによる既存耐震壁の増打ち補強)の採用	(医)守田会	(株)奥村組		(株)奥村組				大阪府			○	○	9	2	○	○							Is>Iso	1981	2016	増改築併用、BCP向上、低騒音・低粉塵の施工、工期短縮、省スペース	建物の用途変更に併せて、耐震壁を増設・増打ちとともに、鉄骨プレースを新設するなどの耐震補強を行った。耐震壁の増打ちにあたって、本建物がSRC造であることからあと施工アンカーが使用できない部分については、あと施工アンカーが不要となる「奥村式増打ち壁耐震補強工法」を採用した。					
1010-006	2017年度	奥村組	株式会社奥村組 高樹寮	株式会社奥村組 高樹寮	○	外付け制震フレームによる耐震改修	(株)奥村組	(株)奥村組		(株)奥村組				東京都			○		4	0	○	○	○	○					極めて稀な地震動に対し、最大層間変形角1/150以下	1964	2016	高耐震性能、デザイン性向上、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上	旧耐震基準建物に対して、耐震壁の増設・増打ちと外付けフレーム設置による補強を行い、現行耐震基準の1.25倍相当の耐震性能を確保した。建物形状と耐震壁の偏在によって地震時に生じるねじれ変形に対し、外付けフレームに制震ダンパーを組込むことで高いねじれ抑制性能を付与して目標とする耐震性能を満足した。					
1010-007	2021年度	奥村組	青森県庁舎 南棟、東棟、議会棟	青森県庁舎 南棟、東棟、議会棟	○	FM導入による県有施設利活用の取組と施設を使用しながらの減築による耐震改修	青森県	(株)日建設計		(株)奥村組	(株)鹿内組	(株)鹿興業社		青森県	○			8	1	○	○	○	○	○	○			極端な地震時の層間変形角1/150以下、II類相当の耐震性を確保	1960	2018	施設を使用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、デザイン性向上、BCP(事業継続性)向上	青森県のFM(ファシリティマネジメント)導入の下に計画された県有施設の改修工事である。改修後40年以上の建物使用を想定し、耐震性能を確保のために減築とRC壁の増設・増厚、鉄骨フレームによる補強を行うと共に、「機能性・快適性・省エネルギー性・安全性」を最新水準に更新する工事を、建物を使用しながら行った。						
1212-001	2012年度	鹿島建設	葛飾区総合庁舎本館	葛飾区総合庁舎本館	○	建物群の連結補強による居ながらの改修	葛飾区	(株)小堀澤二研究所		(株)鹿島建設				東京都	○				4	0	○	○	○	○					時刻歴応答解析で層間変形角1/100以内	1962	2000	供用しながらの改修、高耐震性能、BCP向上	エキスパンションジョイントを介した建物群の耐震補強に当たり、「耐力向上」と「減震付加」を意図した塑性ダンバー(ハイカムダンバー)組込の制震補強構面の配置で補強構面数を減らせると共に、各棟を「Yの字型」形状に剛結一体化して補強構面の配置計画の自由度を向上させて建物外周部に補強構面を集約配置することで、建築計画の制約を極力回避した改修構法である。加えて、工事計画で平日工事と土日工事を組合せて「居ながら」改修工事を実現している。					

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12拝・複数)												規模	改修方法(9拝・複数)						改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約
												建物用途(12拝・複数)														改修方法(9拝・複数)									
12-002	2012年度	鹿島建設	中村学園大学・中村学園大学短期大学部音・体育馆	中村学園大学・中村学園大学短期大学部音・体育馆	○	CFT-SS(Simple strong)構法による耐震補強	学校法人中村学園	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	福岡県			○															Is>Iso	1981	2011	CFTプレース、コスト削減、施工環境向上	高軸力を支持するCFTの特徴を生かし引張を負担しないディテールとすることにより、コストを大幅に削減すると共に騒音やはづり、アンカーダグが減るため、施工環境の向上が図れた。	
12-003	2012年度	鹿島建設	天妙国寺 本堂	天妙国寺 本堂	○	木造伝統建物の鉄骨柱による居ながらの補強	顕本法華宗天妙国寺	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都																		補強で耐力は約5倍に向う、応答最大変形角1/33(極稀)	不明	2010	高耐震性能、短工期施工、ローコスト施工、供用しながらの補強	既存の木造のお寺(本堂)を使いながら、短期間に耐震補強を行なうものである。経年により、柱梁等に歪みが見られるようになってきたことから、大地震時の倒壊防止を目的に耐震補強を行った。本補強法は建物の両側に鋼管杭を打ち込み、その上に杭と同径の柱を建て、お寺と一緒にすることで耐震性能を向上させた補強法である。建物外部での工事のため、「居ながら施工」が可能で、補強部分がお寺の外観とも馴染んでおり、意匠性を損なわない工夫といえる。	
12-004	2013年度	鹿島建設	八雲学園中学校・高等学校校舎(①東校舎、②中央・西校舎)	八雲学園中学校・高等学校校舎	○	キャンパスの全面的な再生・これから50年に使い継ぐために	(学)八雲学園	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○														I s (補強後) ≥0.7	1958	2010	短工期 デザイン性向上、資産価値向上、助成金適用 増改築併用	本事例では、耐震補強提案を契機に、都市部に位置する私立中学・高等学校のキャンパス(校舎群)の全面的な再生を実現している。改修計画では、スマートな耐震補強・リニューアルによる機能向上とイメージの刷新・メイクアップセンター新設による学園の新たな顔づくりなどを具現化した。さらに工事実施にあたっては、学園生活と共存するための「夏休みを中心とした短期間での分割施工」を実現し、学園から高い評価をいただいた。		
12-005	2013年度	鹿島建設	日本大学法学部三崎町校舎本館	日本大学法学部三崎町校舎本館	○	基礎補強を併せた地下1階柱頭免震による都心大学校舎の“居ながら”免震改修	(学)日本大学	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○														レベル2地震時弾性限耐力以内(上部・下部構造)	1968	2013	高耐震性能、居ながら改修、基礎補強、住宅・建築物耐震改修モデル事業、助成金適用	市街地に立地する校舎を、免震建物に改修することにより、大地震時に教職員・学生の安全を図ることに加えて、地域住民・帰宅困難者の避難場所として提供することができた。一方、地下1階の柱頭免震を採用することにより、基礎補強も含めて工事範囲を地下階に集中できたため、授業・研究活動を継続しながらの「居ながら」施工が可能となった。		
12-006	2014年度	鹿島建設	銀座グランドホテル	銀座グランドホテル	○	室内の使い勝手に全く影響のない、ホテルの営業を継続しながら外付け制震補強	室町建物(株)	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○														時刻歴応答解析で層間変形確認	1978	2014	繁華街に立地し、緊急輸送道路沿道建物でもあるシティホテルの耐震改修を、営業を継続しながら実施するため、客室に影響の無い中庭部分からの外付け制震補強を採用。2種類の制震ダンパーを効果的に組み合わせて建屋応答を低減すると共に変形追従性に乏しいカーテンウォールの脱落防止策も実施、総合的な耐震安全性を図った。厳しい施工条件の中、屋上にタワークリーンを設置するなど綿密な施工計画により無事故で工期内の竣工を実現。			
12-007	2014年度	鹿島建設	清泉女学院中学高等学校 南棟	清泉女学院中学高等学校 南棟	○	既存基礎上に設置した免震装置による校舎の“居ながら”免震改修	(学)清泉女学院	鹿島建設(株)	(株)フォルムデザイン	鹿島建設(株)	神奈川県			○														極めて稀に発生する地震動に対して応答層間変形角≤1/200	1963	2011	供用しながらの改修、高耐震性能、助成金適用	関係者の愛着の深い校舎の外観を損なうことなく、耐震性能を向上させるために免震改修を行なった。装置高さの小さい免震装置(曲面滑り支承)を最下階柱下部の既存基礎上に設置することで、大掛かりな地下工事をすることなしに、上階を使用しながら建物全層を免震化させた。			
12-008	2015年度	鹿島建設	新宿三井ビルディング	新宿三井ビルディング	○	既存超高層ビルの長周期地震に対する	三井不動産(株)	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都	○		○	○		○	55	3								長周期・長時間地震の揺れを半減	1974	2015	供用しながらの補強、高制震性能、長周期地震動対策、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上	1974年に竣工した55階建ての超高層建物の安心感および制震性能の向上を目的として、屋上設置TMDによる制震改修を行なった。1ユニット当たりの鍾の重量300ton、鍾の最大振幅約2mの2方向対応のTMDを新規開発しており、シミュレーション解析および実大試験体による実験によって、想定通りの性能を発揮することを確認している。			
12-009	2015年度	鹿島建設	サントリーホール	サントリーホール	○	工期中も公演を休むことなく、複雑な形状の大ホール天井の耐震性を向上	サントリーホールディングス	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都	○		○	○	○	○	2	4							耐震天井告示に適合した耐震天井	1986	2014	供用しながらの補強、高耐震性能、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上	稼働率が高い国内有数の大ホール特定天井の耐震改修工事を、公演を中止することなく天井裏のスペースのみで実施した。設計段階では明快にならなかった特定天井の告示内容を設計・施工が一体となって竣工時点で満たし、全国のホールに先駆けて特定天井大臣認定第一号を取得した。				
12-010	2015年度	鹿島建設	西葛西ハイツA棟・B棟・C棟・D棟	西葛西ハイツA棟・B棟・C棟・D棟	○	7年かけ実現した分譲マンションの耐震改修	管理組合法人西葛西ハイツ	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○				○	12	0	○	○					Is>Iso=0.60	1979	2014	供用しながらの補強、助成金適用、資産価値向上	本物件は、管理組合の耐震改修への強い思いと階段的な合意形成、耐震化を後押しする公的助成、適材適所の耐震補強工法の採用により実現した分譲マンションの耐震化の好例である。外付け鉄筋コンクリートフレーム補強工法などの適用と、綿密な施工計画の検討・実施により、居ながらで工事を進め必要な耐震性を確保している。			
12-011	2015年度	鹿島建設	小津本館ビル	小津本館ビル	○	都心部の緊急輸送道路沿道に建つ事務所ビルの居ながら1階柱頭免震改修	(株)小津商店	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都	○		○					11	2							免震層変形33.4cm≤45cm(レベル2)	1971	2015	供用しながらの補強、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保	本物件は、建物所有者の耐震改修への強い思いと、耐震化を後押しする公的助成、1階柱頭免震工法の採用により実現した緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の好例である。1階および上下階での集中的な補強により、基準階での補強をなくすと共に、居ながらで建築・構造・設備の免震化工事を進め必要な耐震性を確保している。			
12-012	2016年度	鹿島建設	中国新聞文化事業社ビル(広島三越)	中国新聞文化事業社ビル(広島三越)	○	百貨店として営業しながら前提とする耐震改修	(株)中国新聞文化事業社	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	広島県			○					8	2	○	○					Is>Iso	1973	2015	供用しながらの改修、短工期施工、施工の安全性向上、資産価値向上、助成金適用	地域の中核百貨店として、営業しながらを前提とした耐震改修計画が求められた。補強計画に際し、店舗営業への影響を最小限に抑えるため、現場施工が容易な部材・工法、補強部材配置は主にバックヤード側、等を踏まえ、補強工法として、①耐震間柱設置、②耐震スリット設置を採用した。なお、塔屋(R.C造)は壁増し打ち補強とした。			
12-013	2016年度	鹿島建設	小田原市庁舎	小田原市庁舎	○	基礎ピットを利用した居ながら免震レトロフィット	小田原市	鹿島建設(株)	(株)安池建設工業	鹿島建設(株)	神奈川県	○							7	0		○					レベル2地震時で上部構造の層せん断力が弹性限耐力以内	1976	2016	供用しながらの補強、既存ピット利用、長周期地震動対策、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上	小田原市による公募型の耐震改修事業プロポーザルで唯一の免震改修提案であった本計画は、既存ピット内に免震装置を組み込む「基礎ピット内免震化工法」を採用している。これにより耐震補強範囲を基礎部分に限定し、建物の機能、外観および工事期間中の利便性を確保しつつ、工期・コスト面でも優れた費用対効果をもたらすことができた。				
12-014	2017年度	鹿島建設	立川曙町8953ビル	立川曙町8954ビル	○	既存建物の価値向上を実現させた総合的リニューアル	三菱UFJ信託銀行(株)	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○					8	2	○	○					Is>Iso=0.60	1970	2016	店舗部分への影響を最小限にした「居ながら」施工、デザイン性向上、資産価値向上、立川市助成制度活用	本工事は築45年、商業ビル(竣工時百貨店)の改修工事で、テナント営業を継続しながら工事を実施した。店舗営業への影響を最小限とする配置と壁増設、鉄骨プレース等の設置により、強度、韌性を向上させると共に、耐震補強工事と同時施工によりメリットのある内外装、設備更新工事も併せて実施し、建物価値の向上を図った。また立川市緊急輸送道路沿道建築物のため、耐震化促進事業助成制度を活用した。			
12-015	2017年度	鹿島建設	共立講堂	共立講堂	○	屋根の軽量化による耐震性向上、三次元曲面天井の耐震化	(学)共立女子学園	鹿島建設(株)			鹿島建設(株)	東京都			○					4	1							Is>Iso=0.70 屋根軽量化、特定天井対応、三次元曲面天井、仮設屋根	1938	2017	屋根軽量化、特定天井対応、三次元曲面天井、仮設屋根	築79年の大型講堂(2,000席規模から1,800席に改修)で、千代田区景観まちづくり重要物件に指定されている。既存の構造設計者は内藤多仲である。2000年に壁増設などにて強度型の耐震補強を施し、2017年に軽量化・ぶどう棚化等により屋根架構および特定天井規模の大型天井の耐震化(文部科学省の助成制度利用)を完了した			

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12軒・複数)												規模	改修方法(9軒・複数)						改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約
27	27-001	2022年度	鉄建建設	第二白金ハウス	第二白金ハウス	○	居ながらでのフレーム補強とスリット併用の耐震改修工事	第二白金ハウス管理組合	鉄建建設(株)			鉄建建設(株)																		Is>Iso	1972	2022	セスレット工法は鉄骨のフレームに繊維コンクリートを使用した鉄骨コンクリート構造	東京都港区の耐震診断助成金と耐震補強助成金を利用するごとに実施できた。耐震改修工法はバルコニー側にセスレット工法と廊下側にスリット改修を併用した。居住者の方々には約1年間バルコニーへの立ち入り制限とサッシからの採光を我慢してもらつての工事であった。	
28	28-001	2012年度	東亜建設工業	T団地2-26-2号棟耐震改修工事	T団地	○	居住者の環境に配慮したRC(SRC)集合住宅の耐震補強	独立行政法人都市再生機構	東亜建設工業(株)			東亜建設工業(株)																		1階1/413rad.(応答)<1/250rad.(目標) 2階以上1/136rad. 6階(応答)<1/125rad.(目標)	1972	2011	供用しながらの補強、制震補強、低騒音・低振動の施工	1972年竣工の地上11階の鉄骨筋コンクリート造の集合住宅において制震補強改修を行つたものである。工事は居ながら補強工事であり、居住者に配慮した低騒音・低振動な工事を要求されている。補強工法はトグル制震装置(増幅機構付油圧制震ブレース)を採用している。	
28	28-002	2017年度	東亜建設工業	新都心マンション	新都心マンション	○	助成金を利用した外付鉄骨フレーム(RC構法)による耐震補強	新都心マンション管理組合法人	東亜建設工業(株)			東亜建設工業(株)																	Is>Iso	1981	2014	供用しながらの補強、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保	本工事は「渋谷区緊急輸送道路沿道建築物耐震化支援事業」に基づく耐震化事業として、耐震診断、耐震改修及び耐震改修工事を渋谷区からの助成金を受けて実施した。制度の性格上工事終了まで3年度をかけて進めていき、年度ごとに申請を行い、それぞれの助成金を受領した。		
29	29-001	2012年度	東急建設	岩沼市庁舎	岩沼市庁舎	○	地方自治体における防災拠点の耐震改修	岩沼市	岩沼市	東急建設(株)		東急建設(株)																	Is値: 0.70以上	1974	2010	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、低騒音・低粉塵の施工、BCP向上	岩沼市が進めていた市内公共建物耐震化事業において最後に残った市庁舎の耐震化実施例である。プロポーザル提案方式で採用された本耐震提案は複数の構法を使用しており、各々を『適材適所』で採用し高耐震性能を実現している。竣工5ヶ月後に発生した東日本大震災では建物被害もなく、対策指令拠点としてただちに機能し、現在は復興事業の拠点となっている。		
29	29-002	2012年度	東急建設	西宮市立瓦林小学校	西宮市立瓦林小学校	○	工期短縮、施工効率性の向上を図り、学校教育活動への影響を低減した学校施設耐震改修	西宮市	(株)あい設計			東急建設(株)																I s 値: 西棟: 0.75	1981	2012	耐震補強工事を主な業務としたPFI事業の対象校の一部であり、学校教育活動への影響の低減を目的とし、事業者である設計企業・施工企業のノウハウを活用した好例である。T SKアルミプレース工法や安震ブロック工法の採用により、工期短縮や施工効率性の向上を図り、総構面数の多い耐震改修を夏休みのみの短期間に実現した。				
29	29-003	2012年度	東急建設	東急百貨店本店	東急百貨店本店	○	施工中も完成後も店舗営業に支障を来さない制震改修	(株)東急百貨店	東急建設(株)i2S2		東急建設(株)																	①時刻歴応答解析により震度6強以上の耐震性能 ②換算I s 値: 0.63以上	1970	2010	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、低騒音・低粉塵の施工、長周期地震対策	東急グループの保有する旧耐震建物の耐震性向上を図る事業の一環として実施された例であり、不特定のお客様が利用する百貨店において制震改修を行つたものである。制震改修の採用により営業(売場)面積は改修前と同等の確保を実現しており、竣工後発生した東日本大震災における性能検証においても高耐震性能が確保されていることが実証された。			
29	29-004	2014年度	東急建設	金王八幡宮神楽殿	金王八幡宮神楽殿	○	現存のまま将来に残す木造神楽殿の制震改修	金王八幡宮	(株)魚津社寺工務店		東急建設(株)	(株)魚津社寺工務店		東京都														限界耐力計算において極稀地震において梁間方向1/17、桁行方向1/24	1926	2014	施工の安全性向上、高耐震性能、建物保全	本物件は、大正15年に建てられた木造の神楽殿である。築約90年の本建物は、経年による劣化や東北地方太平洋沖地震等の影響により、地盤沈下による基礎の沈下や既存大谷石の風化が見受けられた。本改修工事は、今後発生が予想される巨大地震にも対応し、将来の文化財としての価値を損なわぬよう現存の意匠や風合いを最大限に生かす耐震改修を実現した。			
29	29-005	2015年度	東急建設	京都東急ホテル	京都東急ホテル	○	あと施工アンカーの本数を削減可能な工法を採用し、営業しながらの施工を実現	三井住友信託銀行(株)	(株)イリア	東急建設(株)	東急建設(株)		京都府														A・B・C棟ともにI s ≒ Iso	1982	2015	ホテルを営業しながらの改修、省スペース化施工	既存躯体へのアンカー工事を削減し、また無振動ドリルを探用することにより、施主・ホテル利用のお客様からのクレームがほとんどなく、施工を完了した。				
29	29-006	2018年度	東急建設	日本橋税務署	日本橋税務署	○	免震レトロフィット構法と環境負荷低減への大規模改修工事	国土交通省関東地方整備局	㈱安井建築設計事務所		東急建設(株)	タツヲ蒲安工業(株)		東京都														最大層間変形角1/200以下 層塑性率1.5以下	1972	2017	既存躯体を含めた外壁の軽量化と、柱及び2階梁補強等の必要な躯体強度の確保とともに、1階柱頭に免震装置を設置し地震力を大幅に低減する免震レトロフィット構法を採用し設備改修も含めた特殊な大規模改修工事である。				
30	30-003	2012年度	東鉄工業	TK第一ビル	TK第一ビル	○	中層SRCビルでの制震による耐震補強	東鉄工業(株)	東鉄工業(株)		東鉄工業(株)			東京都													I s > 0.6	1974	2005	施工の安全性、高耐震性能、デザイン性向上、資産価値向上	自社ビルにリニューアル工事と耐震補強を行い、テナントビルとして改修した例であり、耐震補強に制震装置を採用し建物外観と内部からの景観に対して配慮した建物となっていた。				
32	32-001	2012年度	戸田建設	徳海屋ビル免震レトロフィット	徳海屋ビル	○	大震災で実証済: 狹い敷地でも可能な「20cm免震レトロフィット」の威力	(株)徳海屋	戸田建設(株)		戸田建設(株)			東京都													告示波の入力地震動に対し弹性限耐力以下、層間変形角1/200以下	1975	2011	外壁と隣地境界までの距離が約20cmなどの条件下で免震化を実現した「都市型免震レトロフィット」の好事例である。					
32	32-002	2012年度	戸田建設	埼玉県本庁舎ほか耐震補強工事	埼玉県本庁舎、第二庁舎	○	埼玉県庁舎を居たままで大規模耐震改修工事	埼玉県	戸田建設(株)		戸田建設(株)			埼玉県													I s > Iso	1974	2011	居たままの補強、ローコスト施工、低騒音・低粉塵施工、デザイン性向上、BCP(事業継続性)向上、増改築併用	埼玉県庁舎を居たままで行なつた大規模耐震改修工事であり、本庁舎と第二庁舎を同時に施工したものである。建物外周部を補強する工法を採用することや、低騒音・低振動・小粉塵施工が可能な鋼管コッター工法を採用することにより、高い耐震性を実現できた工事である。				
32	32-003	2012年度	戸田建設	愛知県庁本庁舎	愛知県庁本庁舎	○	国内最大級の基礎免震構造によるレトロフィット耐震改修	愛知県	(株)日建設計		戸田建設(株)			愛知県													部材: 短期許容応力度以内で 層間変形角1/1000以下 固有周期: 3.9秒以上	1938	2009	供用しながらの耐震改修、施工の安全性向上、高耐震性能、長周期地震動対策	愛知県の防災拠点となる愛知県庁本庁舎関係者の改修に対する強い意思と設計者・施工者のサポートが実って免震改修を適用できた好例である。レトロフィット基礎免震工法の採用により、建物を使用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現し、今後発生すると予測されている東海・東南海地震に備えることができた事例である。				
32	32-004	2014年度	戸田建設	弁天プラザビル	弁天プラザビル	○	「鋼管コッター」+外部補強で全テナントが営業したままで補強	弁天町共同ビル(株)	戸田建設(株)		戸田建設(株)			新潟県													I s > Iso	1981	2009	供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工	鉄骨フレームやRC耐震壁の外部補強を中心とした補強に低み合せ、全テナントが継続営業したまま、4ヶ月という短工期で補強工事を竣工。				
32	32-005	2014年度	戸田建設	J A熊本経済連本館	J A熊本経済連本館	○	居たままアーチフレーム制震補強の実現	JA熊本	戸田建設(株)		戸田建設(株)			熊本県													I s > Iso 高層階での地震時の揺れ低減	1979	2013	内部補強を伴わないアーチフレーム制震補強を基本方針とし、補強構架直下に新設柱を配置しない条件を満足させ、建物全体の揺れを抑える架構計画・制振装置配置とした。					
32	32-006	2014年度	戸田建設	裾野市本庁舎	裾野市本庁舎	○	免震改修+地下空洞充填で基礎部分を含めた一体の補強実施	裾野市	戸田建設(株)		戸田建設(株)			静岡県													(告示波×1.50倍)の入力地震動に対して1/500	1977	2012	供用しながらの改修、低騒音・低粉塵の施工、BCP向上	本建物は、富士山の噴火の際に流れ出た強固な溶岩層の上に建設されているが、1975年の建設時に建物直下に地下空洞が発見され、補強用の杭も打設されているが、その地下空洞をエアミルク材で充填し、その後、地下1階柱頭部で免震レトロフィット改修を行い、基礎部分を含めた一体の補強を行つた事例である。				

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12択・複数)						規模	改修方法(9択・複数)						改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約	
32	32-007	2015年度	戸田建設	ロッテ本社ビル	ロッテ本社ビル	○	東京都特定緊急輸送道路沿道建築物の居ながら制震・耐震改修	ロッテ商事	戸田建設(株)			戸田建設(株)							12	1	○	○				Is>Iso 高層階での地震時の揺れ低減	1978	2014	供用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、短工期施工、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保	耐震性が不足している東京都の特定緊急輸送道路の沿道建築について、耐震性の確保および構造計画上の問題であった大地震時の高層階での大きな揺れを低減させるため、座屈拘束型耐震・制振プレースを併用して耐震改修を行った。耐震診断、補強設計、改修工事については特定沿道建築物に対しての耐震化に対する助成制度の適用を受けて実施した。
32	32-008	2016年度	戸田建設	さんむ医療センター中棟	さんむ医療センター	○	開院したままで耐震改修工事を実施	(独)さんむ医療センター	戸田建設(株)		戸田建設(株)								3	0	○					Is>Iso (=0.75)	1979	2011	供用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工	開院したままで耐震改修工事ができるように外周部の耐震壁設置、既存壁架構不閉塞、鉄骨外部補強を中心とした耐震改修とした。接合には鋼管コッター工法を採用。補強部材に明るい色付けを行い、新装外壁のイメージとした。
32	32-009	2017年度	戸田建設	TKホール	TKホール	○	プレース・クリアランスの設置が困難な大ホールの特定天井の落下防止措置	東京都	戸田建設(株)		戸田建設(株)								○	11	3					特定天井の落下防止措置	1996	2016	特定天井 落下防止装置 ワイヤー	大ホールの天井耐震改修工事において、プレース設置やクリアランス確保が難しいことから、新築時と同等の技術基準に適合させることができて困難なため、ワイヤーを用いた落下防止措置を講じた
32	32-010	2020年度	戸田建設	朝霞市庁舎	朝霞市庁舎	○	相互に近接する建物群における免震レトロフィットを含めた耐震改修工事	朝霞市	戸田建設(株)		戸田建設(株)								○	5	1	○	○	○		L2地震時最大応答加速度199gal Is>Iso	1972	2017	居たまま補強、狭小な条件下での免震レトロフィット補強、鋼管コッター工法の採用	朝霞市庁舎(本館と議場棟)は耐震診断で強度不足が指摘され、「朝霞市庁舎等整備方針検討委員会」で本館を免震、議場棟を耐震で補強する提言がなされた。本館は戸田式免震工法を適用し、長周期化により建物に加わる力を低減させ基礎層のみを改修する「居たまま補強」と大地震時における免震層の小振幅化に成功した。議場棟は鋼管コッター工法による鉄骨プレース補強を行った。
33	33-001	2014年度	飛島建設	(独)農業環境技術研究所研究本館	(独)農業環境技術研究所研究本館	○	研究施設継続使用での短工期の制震補強	(独)農業環境技術研究所	(株)日立建設設計		飛島建設(株)								○	5	1					応答結果	1979	2013	供用しながらの改修、研究施設のため揺れ防護、短工期(6ヶ月)での施工	農業環境技術研究所本館は旧耐震基準の建物で農業研究の拠点としての重要性から施設の耐震化が急務であった。研究施設という用途から地震応答が小さく地震後の継続使用可能な耐震改修が求められた為、トルグ制震による改修を実施。制震構造により層間変形角1/150以内とし改修後Is値は0.69の設計とした。工事は施設継続が条件でディスクシアキーの使用等で低騒音、低粉塵施工を行い、工期も6ヶ月の短工期で完成了。
33	33-002	2020年度	飛島建設	高槻市役所本館	高槻市役所本館	○	持続可能な耐震性と意匠を保持	高槻市	飛島建設(株)	住光建設(株)	(株)山下設計	飛島建設(株)	住光建設(株)						○	7	2	○	○			応答層間変形角 高層棟 1/150rad以下 議場、塔屋 1/250rad以下 地下階GIS>1.0	1970	2020	併用しながら補強、BCP(事業継続性)向上	緊急時における防災拠点としての役割を担うために耐震改修事業が行われた。てこの原理を応用し効率よく地震エネルギーを吸収できるトルグ制震プレースの採用で、建物の耐震性能を向上しつつ施設機能の維持を図った。施工中の騒音・震動を低減させるために、ディスクシアキーを採用した。
33	33-003	2024年度	飛島建設	岩手県産業会館	岩手県産業会館	○	建物を使いながらの耐震改修工事	岩手県産業会館	JA全農とうほく設計センター	(株)E&CS	飛島建設(株)							○	7	1	○	○	○		地上応答結果 1/250rad以下 地下 Is>Iso	1962	2024	建物を使いながらの補強工事、BCP(事業継続性)向上	旧耐震基準設計建物で必要な耐震性能を満たさない建物に対する耐震改修を行った。てこの原理を応用して効率よく地震エネルギーを吸収できるトルグ制震プレースを採用し、建物の耐震性能向上を図った。建物を使いながらの施工条件から、施工中の騒音・振動を低減させるため、間接接合部にはディスクシアキーを採用した。	
37	37-001	2012年度	西松建設	東建マンション学芸大	東建マンション学芸大	○	分譲マンションで供用しながら施工を行なった外側耐震改修	東建マッシュン学芸大管理組合	西松建設(株)		西松建設(株)								○	8	0	○				Is>Iso	1973	2006	共用しながらの改修、外観刷新、資産価値向上	管理組合の「建物の安全と安心を確保する」という確固たる意思を具現化すべく、管理組合・設計者・施工者が一体となり遂行したプロジェクトの好例である。外側にRC耐震フレームを配置して強度型の補強工法を採用する事により、居住者が生活しながらの施工を実現した。また竣工後に幾度か地震を経験しているが、居住者からは安心の声が届いている。
37	37-002	2012年度	西松建設	拓殖大学文京キャンパスD館	拓殖大学文京キャンパスD館	○	耐震補強工法を3工法採用した耐震改修	学校法人拓殖大学	(株)梓設計		西松建設(株)								○	6	1	○	○	○			1970	2012	高耐震性能、資産価値向上、低騒音・低粉塵の施工	既存建物を有効活用するという大学の意向のもと、利用やすい施設の実現と教育施設としての安全性の確保を行った改修である。
37	37-003	2014年度	西松建設	京都女子大学B校舎	京都女子大学 B校舎	○	基礎免震と中間層免震を併用した大学校舎の耐震改修	京都女子大学	(株)類設計室		西松建設(株)							○	5	0		○			日本ERIによる耐震判定委員会の認定を得、レベル1、レベル2とも短期許容応力度以下	1966	2014	併用しながらの改修、助成金適用、高耐震性能	京都女子大学東山キャンパス内の常時教育研究活動が行われている校舎を中間層免震工法・基礎免震工法を併用した免震レトロフィットにより使用しながら施工した工事である。偏土圧を受ける敷地条件により難工事となつたが、安全な教育研究施設として無事に改修が完了した。	
37	37-004	2014年度	西松建設	西松建設株式会社睦町寮	西松建設株式会社睦町寮	○	開口部にブレースを用いない制震補強工法	西松建設(株)	西松建設(株)		西松建設(株)							○	6	0					1/125以下	1981	2014	制震補強工法、併用しながら補強	本建物は、旧耐震設計基準で設計された昭和56年竣工の共同住宅である。耐震補強工法には当社が新たに開発した制振技術を用いたBiDフレーム工法を採用した。BiDフレーム工法を採用した初物件であり、設計方法・施工方法に関する多くの貴重なデータや知見が得られた。	
37	37-005	2025年度	西松建設	真美堂ビル	真美堂ビル	○	築50年の事務所物販系テナントビルの耐震化とホテルへのリノベーション	(株)真美堂ビル	(株)ユーブラス	(株)リーテック	西松建設(株)							○	10	1	○	○	○		Is>Iso	1971	2021	リノベーション、助成金適用、耐用年数評価の第三者評価を取得	1971年に西松建設の設計施工のもと建てられた真美堂ビルは、金沢市の耐震改修・補助制度を活用し耐震改修することによって、2021年に石川県金沢市の都心に「香林居」として生まれ変わった。	
38	38-001	2014年度	長谷工リフォーム	シャルマン南加瀬	シャルマン南加瀬	○	住みながら耐震改修による川崎市耐震診断・耐震改修表示マーク制度適合マンション	シャルマン南加瀬管理組合	(株)川崎設計		(株)長谷工リフォーム							○	7	0	○	○			Is>Iso	1982	2009	住みながら耐震改修、耐震・長寿命化の好事例。耐震改修・設備改修・大規模修繕の複合工事の実施により、安全・安心・快適な居住環境が実現されている。		
39	39-001	2014年度	藤木工務店	株式会社中国銀行倉敷本町出張所	株式会社中国銀行倉敷本町出張所	○	煉瓦造の文化財一歴史を残して耐震補強	(株)中国銀行	(株)NTTファシリティーズ	(株)藤木工務店								○	2	0	○				Is≥Iso	1922	2014	耐震性の向上、既存外観・内部仕上の維持	本建物は、国登録有形文化財に指定され、倉敷市民と観光客に親しまれている煉瓦造の建物。建物内で銀行業務を行なうが、煉瓦造の耐震補強を行った。	
39	39-002	2014年度	藤木工務店	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 第1棟	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 第2棟	○	新築と既存の差を感じさせない建物づくり	(公財)大原記念倉敷中央医療機構	(有)ニューアール設計	(株)藤木工務店								○	10	1	○	○	○		Is≥Iso	1975	2013	共用しながらの補強、施工の安全性向上、デザイン性向上、資産価値向上	本建物は、昭和50年に竣工し、病院のシンボルともいえる病棟。昭和56年の建築基準法改正以前の建物で耐震診断の結果、柱および耐震壁の補強工事、エレベーター7台の耐震・防災機能の適合化工事を行った。	

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12拝・複数)												規模	改修方法(9拝・複数)						改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約
39	39-003	2014年度	藤木工務店	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	○	大正の面影を残した耐震改修	(公財)大原記念倉敷中央医療機構	(有)ユニー・アール設計	(株)藤木工務店	岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is≥Iso	1923	2014	施工の安全性向上、デザイン性向上、資産価値向上	本建物は、病院創設当時に建築された建物である。現在も使用頻度が高いため、建物の耐震補強改修を行い、安全・安心を確保すると共に、貴重な建物の維持保存に繋げた。			
39	39-004	2024年度	藤木工務店	ゆめタウン倉敷	ゆめタウン倉敷	○	店舗営業を維持しながら、第三者の安全最優先の耐震改修	藤徳産(株)	(株)藤木工務店	(株)藤木工務店	岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is値0.43→0.6	1979	2024	営業しながらの工事、利用者・従業員の安全確保、店舗としての機能を考慮した耐震改修、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用	小売店が集まった物販用途の建物で、1979年竣工。竣工後45年が経過し、耐震基準も改訂されている中で、建物内外に鉄骨補強いや既存壁にスリット設置、耐震壁新設などを行っておりIs値は約1.5倍に改善された。		
39	39-005	2025年度 New	藤木工務店	ユーブラザうたづ	ユーブラザうたづ	○	天井の構造強化と準構造部材により、複雑な既設天井形状の耐震性能を強化	宇多津町(株)清和設計事務所	(株)清和設計事務所	(株)藤木工務店	香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特定天井の準構造化	1998	2024	狭く限られた既設天井内に補強部材と準構造部材の天井形成を実施。	本建物は、地域住民の健康づくりやふれあいの場として親しまれている建物、平成10年竣工。劇場ホールの特定天井は音響性能や天井形状を同等に維持して改修する計画。狭く限られた既設天井内に補強部材と準構造部材の天井形成を実施。			
45	45-001	2017年度	松尾建設	九州学院1号館	九州学院1号館	○	平成28年熊本地震にも耐えた耐震補強HP耐震工法と外付けPCアーチーム工法	(学)九州学院	(有)游建築設計事務所	松尾建設(株)	熊本県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is 0.708>Iso 0.7	1962	2016	使用しながらの補強、低強度コンクリート建物の補強、複数の補強の組合せ、助成金適用	本物件は当初の耐震性能が極めて低かったため多くの補強を要したが、外観をあまり損なわず、建物を使いながらの工事が可能という条件のもとに実施した耐震補強工事である。平成28年3月に補強工事が完成したが、その約1ヶ月後に震度7を2回引き起こした平成28年熊本地震が発生し、当該建物も震度5強、震度6強に見舞われるも無被害であった。			
45	45-002	2019年度	松尾建設	松井別館 花かんざし	松井別館 花かんざし	○	平成28年熊本地震にも耐え、平成30年大阪北部地震にも耐えたHP耐震工法	松井ホテル	松尾建設(株)	松尾建設(株)	京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is 0.626>Iso 0.6	1973	2018	複数の補強の組合せ、短工期施工、補助金適用	京都市の耐震化事業「京都市修学旅行生が利用するホテル、旅館の耐震化対策事業補助金」の助成を受けて、改修計画と改修工事を行った。外観がほとんど変わらず、補強箇所、補強階数が少なく、熊本地震にも耐えたHP耐震工法と、在来工法を併せて、コストダウンと短工期で工事を行うことができた。			
46	46-001	2012年度	前田建設工業	松阪市庁舎本館	松阪市庁舎本館	○	庁舎機能を維持しながらの工事を可能にした鉄骨フレーム増設架構による耐震改修	松阪市	前田建設工業(株)	(株)上村工建	前田建設工業(株)	三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is>Iso	1969	2012	供用しながらの改修、高耐震性能、短工期施工、ローコスト施工、助成金適用、環境配慮	松阪市では旧耐震基準で設計された市庁舎を震災時における来庁舎や職員の安全確保、行政機能の保全、防災拠点としての庁舎機能の保持などの必要性を考慮し耐震補強を実施するに至った。耐震改修工事は設計・施工一括のプロポーザル方式にて発注され、建物内部の工事をほとんどなくし、工期と工事費を大幅に減らすことができた本案が採用された。		
46	46-002	2012年度	前田建設工業	三田松聖高等学校	三田松聖高等学校	○	補強前と変わらぬパフォーマンスを發揮するMaSTER FRAME構法	(学)湊川相野学園	前田建設工業(株)	前田建設工業(株)	兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is>0.7	1979	2010	供用しながらの改修、高耐震性能、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、ローコスト施工、助成金適用	本建物では、建物の外側を鉄筋コンクリートフレーム(MaSTER FRAME構法)で補強することにより、所定の耐震性能を確保するとともに採光や眺望に影響を及ぼさず、補強前と変わらぬパフォーマンスを発揮。さらにMaSTER FRAME構法をプレキャスト化することにより短期間施工を実現している。			
46	46-003	2018年度	前田建設工業	大三新日本橋ビル	大三新日本橋ビル	○	建物の使用性に配慮した耐震補強	大三(株)	前田建設工業(株)	前田建設工業(株)	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0.62>0.6	1970	2016	供用しながらの補強となるため、執務や事務所スペースに影響の少ないよう配慮し、建物の耐力増加及び偏心の改善により、建物の安全性を確保する補強とした。	本建物では、建物の外側を鉄筋コンクリートフレーム(MaSTER FRAME構法)で補強することにより、所定の耐震性能を確保するとともに採光や眺望に影響を及ぼさず、補強前と変わらぬパフォーマンスを発揮。さらにMaSTER FRAME構法をプレキャスト化することにより短期間施工を実現している。			
46	46-004	2018年度	前田建設工業	川崎穴水ビル 事務所棟	川崎穴水ビル	○	外付けRCフレームによる補強	穴水ホールディングス	前田建設工業(株)	前田建設工業(株)	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0.62>0.6	1965	2015	供用しながらの補強、複数の補強の組み合わせ	プレース材の無い外付けRCフレームによる補強『MaSTER FRAME構法(マスター・フレーム構法)』を組み合わせることによって、建物の使用性に配慮し、既存開口に影響を及ぼさない補強とした。			
47	47-001	2015年度	馬淵建設	東京共済病院 西館	東京共済病院 西館	○	病院を稼働しながらの耐震補強	東京共済病院	構造品質保証研究所(株)	馬淵建設(株)	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Ifmax<Iflo	1974	2015	外観がほとんど変わらない狭い場所でも施工可能 供用しながら施工可能 供用しながら施工可能	病院という特性上、建物全部の稼働を停止するわけにはいかないため、部分的に補強でき、供用しながらでも施工が可能な包帯補強(SRF工法)での補強工事を行うこととした。			
47	47-002	2018年度	馬淵建設	パイロットハウス星川耐震改修工事	パイロットハウス星川	○	耐震リニューアル 大規模マンションにおける複合耐震補強工事	パイロットハウス星川管理組合	上甲隆一級建築士事務所	馬淵建設(株)	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	IS値>0.6	1980	2018	「居住しながら耐震補強」複合的耐震補強	本物件は「旧建築基準法」の建物で、横浜市の耐震診断を受け、補強工事が必要と判定。人命尊重型を元に設計。管理組合の建物への愛着と強い地盤への備えの意向から、実施、決定。居ながらにしてできる、複合的な工法(柱H.P耐震、柱炭素織維巻き補強、あと施工スリット工事)による耐震補強の採用に至った。1期、2期工事と分かれしており、今はその1期工事となる。大規模集合住宅における「居住しながら耐震補強」の紹介となる。			
48	48-001	2016年度	松井建設	赤坂桧町公園アーバンライフ	赤坂桧町公園アーバンライフ	○	暮らし方を変えずに高いデザイン性を確保した、外付けフレーム補強による耐震改修	赤坂桧町公園アーバンライフ管理組合	松井建設(株)	松井建設(株)	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is>Iso	1972	2016	供用しながらの補強、短工期補強、建物イメージの維持、資産価値向上、助成金適用	本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と設計者、施工者の粘り強いサポートにより、一般認定を取得した外付けフレーム工法を使用して、港区の耐震改修補助を活用する事により耐震改修を実現したものである。完全外付け工法の採用により居抜き改修と耐震性確保を実現し、居住者に安心を提供している。			
48	48-002	2023年度	松井建設	多摩美術大学上野毛キャンパス1号館耐震改修	多摩美術大学上野毛キャンパス1号館	○	デザインフィット工法による冬期休暇期間の耐震改修工事	(学)多摩美術大学	松井建設(株)	松井建設(株)	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is>Iso	1962	2022	短工期施工、低騒音・低振動施工、高耐震性	本物件は、冬季休暇の短期間に騒音・振動の制限、生徒の安全確保のうえ鉄骨フレーム・R.C耐震壁・R.C袖壁・スリット設置工事を実施した。デザインフィット工法の採用と完全外部作業で低騒音・低振動で工期内の施工を可能にした。			
49	49-001	2013年度	松村組	K銀行S支店	K銀行S支店	○	銀行業務に支障なく耐震改修	K銀行	(株)松村組	(株)松村組	京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Is>Iso	1956	2012	銀行営業業務しながらの改修	銀行営業業務に極度支障を与えないように土日祝日を主に工事をを行い、安震ブロック・RM耐震補強工法を採用することで銀行営業業務をしながらの作業が可能となり、お客様からのお問い合わせもなく、発注者からの評判も良好であった。			
50	50-001	2012年度	三井住友建設	チユリス西麻布	チユリス西麻布	○	東京都緊急輸送道路沿道マンションで初めて免震改修	チユリス西麻布管理組合	三井住友建設(株)	三井住友建設(株)	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地震応答解析で確認	1978	2012	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の分譲マンションとして初めて免震改修を行ったものである。免震改修構法の採用により、建物を供用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現し、竣工後の地震を経験してその効果が居住者に実感されている。	管理組合の改修に対する強い意思と設計・施工者のサポートが実りて免震改修を適用できた好例であり、緊急輸送道路沿道の分譲マンションとして初めて免震改修を行ったものである。免震改修構法の採用により、建物を供用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現し、竣工後の地震を経験してその効果が居住者に実感されている。			

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称(正式)	建物名称(検索用)	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途(12括・複数)	規模	改修方法(9括・複数)	改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約
50	50-002	2012年度	三井住友建設	東京エレクトロン東北工場事務所棟	東京エレクトロン東北工場事務所棟		○ 東日本大震災を経験し、制震改修と天井材改修によりBCP対策を強化	東京エレクトロン東北	三井住友建設(株)		岩手県	地震応答解析で確認	1995	2012	震災復興、BCP対策、制震ダンパー、天井材の改修	東日本大震災の際に天井材に被害を受けた鉄骨造の事務所建物であり、震災復旧だけでなくさらなる耐震性の向上によるBCP対策強化を目的として、制震ダンパーを用いた軸体の制震改修と天井材の改修を行ったユニークな事例である。			
50	50-003	2013年度	三井住友建設	浜松医療センター	浜松医療センター		○ 国内初の大規模医療施設を使用しながらの震災改修	浜松市	(株)横河建築設計事務所	三井住友建設(株)	静岡県	[上部構造]レベル1:許容応力度以内、レベル2:弹性限耐力以内	1973	2009	併用しながらの改修、高耐震性能、災害拠点病院	耐震性の低い1号館と2号館の2棟を対象に実施した耐震改修で、改修後の耐震性と機能性の向上、工事中の運用の継続および近接する建物に対する合理的な改修の必要性から、2棟をPC鋼材により連結して一体化するとともに、免震レトロフィットを行っている。なお、本建物は免震レトロフィットを病院に適用した国内初の事例である。			
50	50-004	2014年度	三井住友建設	ボッシュ株式会社 東松山工場	ボッシュ株式会社 東松山工場		○ 稼働中工場内の耐震補強工事	ボッシュ(株)	(株)日立建設設計	三井住友建設(株)	埼玉県	Is>0.6	1961	2013	工場が稼働しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、資産価値向上	本件は生産工場の耐震性向上の一環として取り組まれた案件である。本工場では順次、各棟の耐震補強工事を進めているが、工場を稼働しながらの補強工事を実施するため、生産ライン担当者・設計者・施工者で細やかな協議を行ない実施した好例である。			
50	50-005	2017年度	三井住友建設	山梨文化会館	山梨文化会館		○ 丹下作品初の免震レトロフィット	(株)山梨文化会館	(株)丹下都市本構造建築設計研究所	三井住友建設(株)	山梨県	L2地震時：層せん断力は弹性限耐力以下	1966	2016	放送しながらの免震改修 BCP(事業継続性)向上、外観デザインの維持 免震改修時の建物安全性向上	建築家：丹下健三氏の代表作の一つである山梨文化会館が築50年にを迎えるにあたり、地下階床上柱脚免震レトロフィットの採用により、新聞・放送メディアを核とする建物の活動をほぼ全て維持しながら、直徑約5mの円筒柱16本で構成されている、メタボリズムの思想を世界で唯一実現した特徴的な外観デザインを損なう事無く、更に50年間建物の機能維持を可能とする「山梨文化会館100年計画」を実現した。			
50	50-006	2022年度	三井住友建設	旧端出場水力発電所	旧端出場水力発電所		○ 100年の歴史を活かした耐震補強	新居浜市	(株)文化財構造計画	三井住友建設(株)白石工務店	愛媛県	Is>Iso	1912	2022	外部RC基礎(アースアンカー) 鉄骨バッテレス設置 内部小柱下鉄骨水平構面補強 壁面トレス補強 煉瓦壁引張材(アラミドロッド・ステンレス鉄筋)挿入補強 煉瓦目地アラミドロッド挿入 目地置換補強	2011年に国の登録有形文化財(建造物)に登録された旧発電所の建物に、一般公開を目的とした耐震補強等の改修工事を実施した。耐震補強にあわせて文化財建造物としての保存修理とともに活用改修も一部行った。			
50	50-007	2022年度	三井住友建設	京都先端科学大学附属中学校・高等学校 第一体育館	京都先端科学大学附属中学校・高等学校 第一体育館		○ 既設アリーナ屋根鉄骨を現地で補強した構造耐震補強	学校法人永守学園	(株)類似設計室	三井住友建設(株)	京都府	Is>Iso	1964	2021	既設のアリーナ屋根鉄骨を現地で鉄骨補強、1階で耐震壁を追加	株式会社類似設計室による既存体育館の構造耐震補強の本計画では、耐震補強と共にアリーナ天井が軽量な膜天井に更新して天井落下対策を施している。			
50	50-008	2024年度	三井住友建設	荒尾市庁舎耐震改修事業	荒尾市庁舎		○ 外付けフレーム等多様な工法を採用した市庁舎の居ながら耐震改修	荒尾市	三井住友建設(株)	熊本県	I s値0.6以上	1963	2016	居ながらの補強、低騒音、デザイン性向上、BCP(事業継続性)向上	荒尾市による公募型の耐震改修事業プロポーザルであった本計画は、庁舎の機能を維持しながら、居ながらで行った大規模耐震改修工事である。建物外周部に庁舎の外観上の特徴である水平ラインを生かし意匠性を配慮したプレース付きのフレームを配置し強度の向上を図っている。				
50	50-009	2025年度 New	三井住友建設	若葉台第1共同住宅3-5	若葉台第1共同住宅		○ 中間階免震改修による耐震改修と共に、免震階に賃貸住宅をプランニングし復旧	神奈川県住宅供給公社	三井住友建設(株)	三井住友建設(株)	神奈川県	レベル2地震に対する最大応答せん断力が、弹性限耐力以内からBCP(事業継続性)向上	1983	2016	併用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上	本建物は昭和58年竣工の集合住宅、店舗、事務所を併設する建物に対し、住戸のある3階の中間階免震改修を採用した改修工事である。店舗や事務所・住戸を使用しながら免震改修工事を行い、免震階となる3階では改修後の住環境に配慮し、免震スリットが住戸内に出ないような住戸復旧を行っている。			
51	51-001	2014年度	矢作建設工業	浜松町ビル	浜松町ビル		○ 緊急輸送道路沿道の外付け耐震補強	浜松町ビル管理組合	(株)相互設計事務所	矢作建設工業(株)	東京都	Is>Iso	1965	2013	使用しながらの補強、高耐震性能、緊急輸送道路沿線の安全確保、助成金適用	本物件は、事務所・店舗・住居からなる地上10階建ての複合施設で、緊急輸送道路沿線に位置するため、早急な耐震改修を行なうことが望まれていた。耐震改修工法は、居ながら施工が可能で、改修後の建物の使用に支障がない、外付けプレース補強が選定された。			
51	51-002	2015年度	矢作建設工業	宇喜田ホームズ1号棟	宇喜田ホームズ1号棟		○ 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet(セスレット)工法・架構増設補強による耐震補強	宇喜田ホームズ管理組合	江戸川建築設計共同組合	矢作建設工業(株)	東京都	Is>Iso	1981	2015	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保	本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強、補強後の採光・視界が確保できること、共用部である廊下側の補強であり補強後の居室への影響が少ないとから採用された。また、補強架構に織維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図られたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。			
51	51-003	2015年度	矢作建設工業	白亜ダイヤモンドマンション	白亜ダイヤモンドマンション		○ 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet(セスレット)工法による供用しながらの施工の実現	白亜館ダイヤモンドマンション管理組合	(株)スイコウ	矢作建設工業(株)	東京都	Is>Iso	1979	2015	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、緊急輸送道路沿道の安全確保	本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強であり、補強後の採光・視界が確保できることから採用された。また、補強架構に織維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図られたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。			
51	51-004	2015年度	矢作建設工業	公益財団法人 積善会 曽我病院 北館A棟・C棟	積善会 曽我病院 北館A棟・C棟		○ 入院患者に配慮したピコラム工法による病室を供用しながらの補強の実現	公益財団法人積善会	(株)ヨシオカ設計	矢作建設工業(株)	神奈川県	Is>Iso	1980	2014	供用しながらの補強、高い耐震性能、構造的にバランスの良い補強配置	本物件は、総病床数399床で特に精神疾患の急性期治療・精神科リハビリテーション・認知症疾患の治療に力を注いでいる。そのため、入院患者の治療に支障を出さない、病室を供用しながらの補強が可能である外付けプレース補強が選定された。			
51	51-005	2015年度	矢作建設工業	大阪大学(吹田) 工学S1棟	大阪大学(吹田) 工学S2棟		○ 強度と韌性を兼ね備えた外付け耐震補強 CESRet(セスレット)工法	国立大学法人大阪大学	(株)類似設計室	矢作建設工業(株)	大阪府	Is>Iso	1970	2015	使用しながらの補強、高耐震性能 短工期施工	本対象物件は、地上9階建て、桁行方向梁がウォールガーダーで構成されている比較的剛性的高いBC高層建物であったため、強度と韌性を兼ね且つ、合理的(ロードコスト)で建物使用の制限を最小限に抑える改修工法が求められていた。改修工法は強度型で且つ韌性性能のあるCESRet工法が最も合理的と判断され、採用に至った。			
51	51-006	2015年度	矢作建設工業	D団地	D団地		○ 生活の維持を確保した外付け耐震補強 CESRet(セスレット)工法	都市再生機構西日本支社	(株)URサポータ	矢作建設工業(株)	大阪府	Is>Iso	1970	2015	使用しながらの補強、高耐震性能 短工期施工	本対象物件は、総戸数400戸の中廊下型集合住宅であるため、耐震補強工事の実現性、事業性を確保するとともに、工事は住民が生活しながら、負担が少なく、安全、短期間にあることを目標とし計画が行われた。また耐震補強後には、生活の動線や居住性能が大きく変わらないこと、採光・眺望についても生活に支障が出ない工法が選定された。			

会社番号コード	シート番号	作成	会社名	建物名称（正式）	建物名称（検索用）	種別	概要	発注者	改修設計者	改修施工者	都道府県	建物用途（12択・複数）				改修方法（9択・複数）				改修効果	竣工年	改修竣工年	耐震改修の特徴	要約			
51	51-007	2016年度	矢作建設工業	喜多見ハイツ	喜多見ハイツ	○	特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セスレット）工法による供用しながらの耐震補強	喜多見ハイツ管理組合	(株)構研設計事務所	矢作建設工業（株）	東京都												Is>Iso	1974	2016	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保	集合住宅である本物件は、居住者が生活しながらの耐震補強が可能であり、補強後の採光・視界が確保できることから外付けフレーム補強CESRet工法が採用された。また、補強架構に織維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。
51	51-008	2016年度	矢作建設工業	高輪ホワイトマンション	高輪ホワイトマンション	○	特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セスレット）工法による供用しながらの耐震補強	高輪ホワイトマンション管理組合	(株)あぐと総合計画	矢作建設工業（株）	東京都												Is>Iso	1972	2015	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保	本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強であり、補強後の採光・視界が確保できることから外付けフレーム補強CESRet工法が採用された。また、補強架構に織維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。
51	51-009	2016年度	矢作建設工業	日生住宅目黒マンション	日生住宅目黒マンション	○	特定緊急輸送道路沿道マンションのピタコラム工法フレームタイプによる耐震補強	日生住宅道具マンション管理組合	(株)東京ソイルリサーチ	矢作建設工業（株）	東京都												Is>Iso	1972	2015	供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の改修	本物件は集合住宅であるため居住者が生活しながらの補強が可能で、補強前後で専有面積が変わらず、補強後の採光・視界が確保できるピタコラム工法は使い勝手が低減しないことから採用された。
51	51-010	2019年度	矢作建設工業	パシフィックホテル沖縄	パシフィックホテル沖縄	○	景観・眺望の維持を確保した外付け耐震補強ピタコラム工法・フレーム型	パシフィック観光産業（株）	(株)総企画設計	矢作建設工業（株）	沖縄県												Is(0.44)>Iso(0.42)	1973	2018	使用しながらの補強高耐震性能、短工期施工	本建物は地下1階、地上11階、塔屋2階の鉄骨鉄筋コンクリート造のホテルである。耐震補強工事の実現性、事業性を確保するとともに、工事は運営に極力影響を与えることなく、安全、短期間であることを目標とし計画が行われた。また耐震補強後には、宿泊客の動線が大きく変わらないこと、採光・眺望についても支障が出ない工法が選定の条件であったことから、外付工法による使用しながら施工が採用となつた。
52	52-001	2015年度	名工建設	愛知銀行今池支店耐震補強工事	愛知銀行今池支店	○	営業しながら施工・室内の開放性を確保した耐震補強	(株)愛知銀行	名工建設（株）	名工建設（株）	愛知県	○											Is>Iso	1970	2015	供用しながらの改修、低騒音・低振動・低粉塵の施工	本物件は、建物内部に耐震補強を実施した例である。補強における発注者の意向は、耐震改工事をする上で、営業しながら施工できること及び補強後も用途を損なわないことであった。これを踏まえて、SMIC工法口型タイプ3構面による補強を銀行窓口休業日のみで施工した結果、営業に支障を来すことなく、用途も確保した補強を行うことができた。
52	52-002	2016年度	名工建設	(学)大阪成蹊学園高等学校1・2号館耐震補強工事	(学)大阪成蹊学園高等学校1・2号館	○	夏休み期間内に耐震改修全49構面を実働37日間で施工	(株)掛谷工務店	(株)掛谷工務店	名工建設（株）	大阪府												Is>Iso	1971	2015	短工期施工、低騒音・低振動・低粉塵の施工	本物件は、建物外部に耐震補強を実施した例である。補強における発注者の意向は、夏休み期間内に耐震補強工事を完了できることおよび補強後も教室の開口面を確保することであった。これを踏まえて、SMIC工法口型タイプ49構面による補強を行った結果、夏休み期間内に機能性・採光への影響を抑えた補強を行うことができた。